



より良いまちを目指して、近隣の繋がりを深めましょう！

いざという時にも、日頃からの顔の見える関係づくりが大切です！

自治会に加入しませんか！

阪神・淡路大震災や東日本大震災などの大規模災害時には、多くの方が近隣住民の協力によって救出されました。阪神・淡路大震災の記録によると、地震発生後、24時間以内の救出時の生存率は約75%とされ、それ以降は、大幅に低下しています。

このため、いち早い救助活動が必要ですが、大規模災害時には、救急車や消防車は、すぐに駆けつけることが難しいと言われています。素早い救助を行うためには、地域住民同士の「助け合い」がとても重要です。

「できる人が できるときに できることを！」

日々の暮らしの安心・安全は、日頃からの近所づきあいやつながりが大切で、いざという時の活動も、普段からの住民同士の繋がりにより効果的に機能するといわれます。

B地区藤沢自治会は、「できる人が できるときに できることを！」を目指して、コロナ禍で控えていた防災活動をはじめ、夏祭り・敬老祝い贈呈など様々な住民のための活動を行っています。

未加入の方は、活動再開のこの機会にぜひ自治会加入をご検討ください。皆様のご加入をお待ちしています。



B地区藤沢自治会(自主防災組織)の活動紹介

☐ 防災備蓄資機材の整備

自治会では、防災倉庫を所有しており、いざという時に備えて、水・食糧・防災用品を備蓄しています。

☐ 湘南大庭地区総合防災訓練への参加

湘南大庭地区の自治会・町内会が参加する地区総合防災訓練へ参加し、炊き出し訓練など大規模災害時に役立つ訓練を行っています。



各ご家庭で、最低3日分、可能な限り7日分の備蓄をお願いします。

【裏面へ続く】

B地区藤沢自治会の一時避難場所をご存じですか？

一時避難場所・・・【B地区自治会集会所】

※一時避難場所とは・・・

災害から一時的に身を守る場所、または地域の方々が避難施設などにまとまって避難するために集合する場所です。



災害時には、地域の人々が一時避難場所に一旦集まって、地域住民の安否や周囲の状況を確認した後、避難施設への移動や、地域が安全な状況であれば、帰宅してもらいます。

一時避難場所は、被災生活が長期化する場合には、地域コミュニティ（情報交換や炊き出しを行うなど）の場所にもなります。その際には、各自で物資や機材を持ち寄るなど、お互いに助け合いましょう。

大規模地震発生時には、無事を知らせる表示物の掲示にご協力をお願いします！

B地区藤沢自治会では、大規模地震発生直後、地域の人々の安否確認をいち早く行うため、ご自身やご家族が無事であれば、タオルを玄関先に掲げることにしています。

災害時の迅速な安否確認を行い救助活動につなげるため、ご協力をお願いします。



自治会への加入のお問い合わせは
お住まいの街区の役員または会長までお願いします。

自治会名：B地区藤沢自治会

会長名：山本 亨

連絡先：070-1448-0836